

多機能マイコン学習用教材

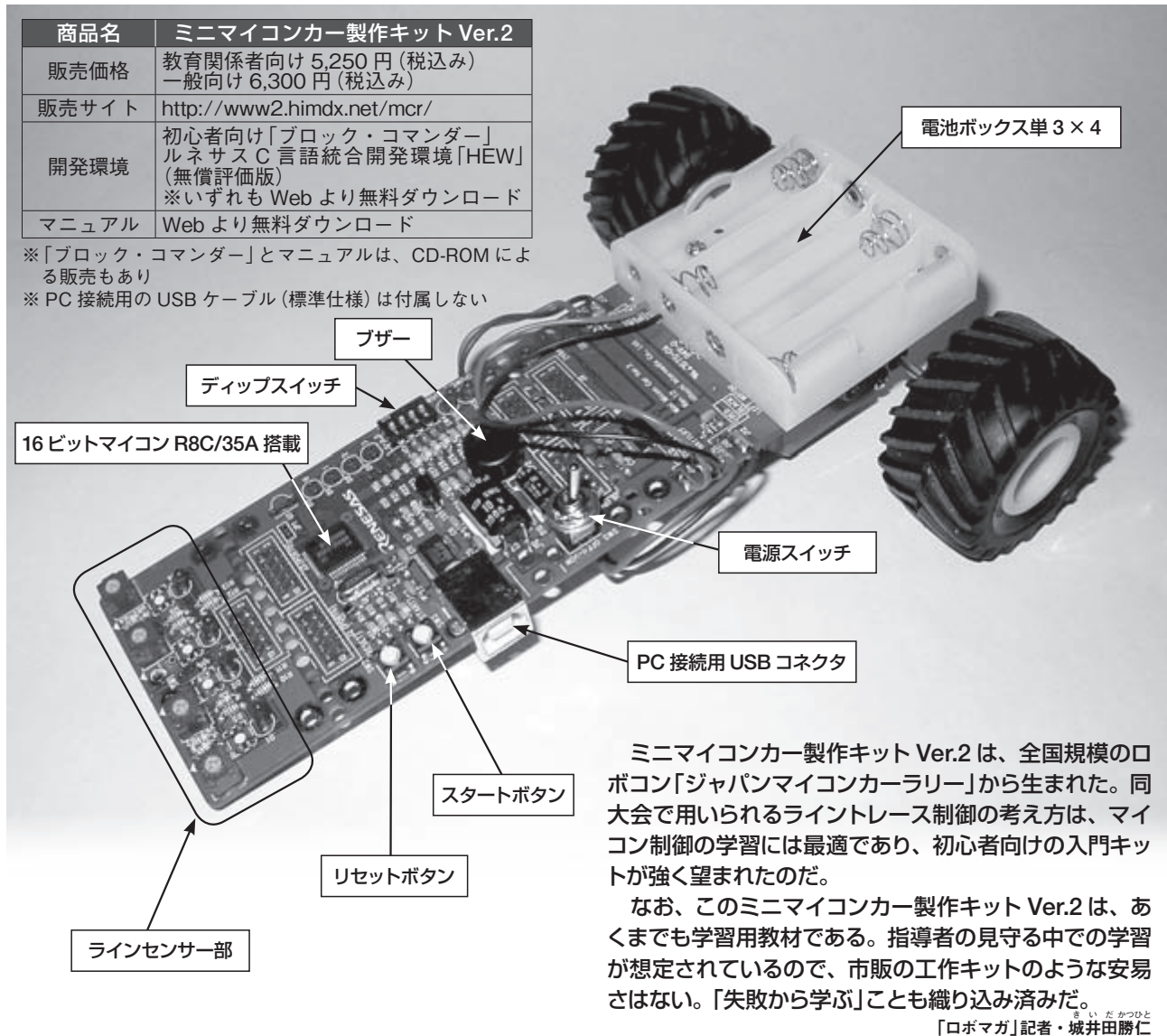
ミニマイコンカー製作キット Ver.2 のすべて

1

ミニマイコンカー製作キット Ver.2 は、段階的に制御学習を進められるロボット教材

商品名	ミニマイコンカー製作キット Ver.2
販売価格	教育関係者向け 5,250 円 (税込み) 一般向け 6,300 円 (税込み)
販売サイト	http://www2.himdx.net/mcr/
開発環境	初心者向け「ブロック・コマンダー」 ルネサス C 言語統合開発環境「HEW」 (無償評価版) ※いずれも Web より無料ダウンロード
マニュアル	Web より無料ダウンロード

※「ブロック・コマンダー」とマニュアルは、CD-ROM による販売もあり
※ PC 接続用の USB ケーブル (標準仕様) は付属しない



ミニマイコンカー製作キット Ver.2 は、全国規模のロボコン「ジャパンマイコンカーラリー」から生まれた。同大会で用いられるライトレース制御の考え方は、マイコン制御の学習には最適であり、初心者向けの入門キットが強く望まれたのだ。

なお、このミニマイコンカー製作キット Ver.2 は、あくまでも学習用教材である。指導者の見守り中の学習が想定されているので、市販の工作キットのような安易さはない。「失敗から学ぶ」ことも織り込み済みだ。

「ロボマガ」記者・城井田勝仁

電子部品 60 点強のはんだ付けが含まれるので、はじめての工作キットとしては難易度が高め。失敗も考慮に入れながら、余裕のあるスケジュールで臨みたい。

本誌の熱心な読者なら記憶にあるだろうが、ミニマイコンカー製作キット Ver.2 には、前身となる製作キットがある。「ミニマイコンカー製作キット Vol.1」と呼ばれるもので、はんだ付けはあるものの 10

数点だけなので、小中学生から組み立てて楽しめる製品だった (現在は在庫限りの販売となっている)。マイコンで制御する自律型ロボットキットながら、7,665 円という安価なところも魅力で、本誌でも連載という形で紹介していた。

ミニマイコンカー製作キット Ver.2 は、その後継にあたる製品となるものの、見た目こそどこか似ているが、その仕様は大きく異なる。

もっとも大きな違いは、その高い性能

に見合わない低価格だ。最新のルネサステクノロジ製マイコン R8C/35A を搭載し、ライトレースを含めた性能すべてが「ミニマイコンカー製作キット Vol.1」を上回りながら、その約 3 分の 2 の価格である 5,250 円を実現した (一般向けの販売価格は 6,300 円)。低価格に設定することで、学校などでの教材として、まとめて求めやすいものにしたのだ。

5,250 円の中には Windows パソコンと接続するための USB ケーブルは含まれ